



農村計画学会東日本地区セミナー

# 生態系サービスへの支払いと地域社会

包括的な制度設計に向けて

**2015年11月15日**  
**日曜日 14時-17時**

東京大学農学部  
フードサイエンス棟  
1F 講義室(102)

[http://www.u-tokyo.ac.jp/  
campusmap/cam01\\_07\\_14\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html)  
※正面入口は2Fですのでご注意ください

東京メトロ 東大前駅1分 根津駅8分

参加無料 事前登録不要

問い合わせ：土屋一彬 [tcy@live.jp](mailto:tcy@live.jp)

※東京大学緑地創成学特別セミナーと共催

地域の農地や森林が人間社会にもたらすさまざまな便益を支える仕組みとして、「生態系サービスへの支払い(Payment for ecosystem services)」制度が注目を集めています。こうした仕組みの多くは、農地や森林の管理者への直接支払いの形をとっています。そして、その制度設計にあたっては、支払いの基準や金額だけでなく、地域社会の社会的関係や生業のあり方についての配慮も重要になります。本セミナーでは、こうした地域社会の観点から「生態系サービスへの支払い」の分析に取り組んでいる若手研究者に最新の研究成果を発表して頂き、今後の研究発展や現場への応用可能性について議論することを企図しています。

14:00-14:10 インTRODクシヨN

## 地域社会の中に生態系サービスへの支払いを位置づける

土屋一彬（東京大学大学院農学生命科学研究科 助教）

14:10 - 16:30 研究報告

## 日本の直接支払いとソーシャル・キャピタル

中村省吾（国立環境研究所社会環境システム研究センター 研究員）

## 中国の退耕還林政策がもたらす生態系サービスの社会・生態的トレードオフ

宮坂隆文（東京農工大学大学院農学研究院 特任助教）

## REDD+プロジェクトにおける地域住民の新しい収入源の創出に向けて

岩永青史（森林総合研究所林業経営・政策研究領域 研究員）